

INFORMATION

最新の情報は生理学会ホームページをご覧ください (URL: <http://www.soc.nii.ac.jp/psj/>)



旭川医科大学

生理学第二講座教授候補者の公募について

本学医学部生理学第二講座担当の坂本尚志教授が平成15年2月1日付けで配置換になりましたので後任の教授を選考することになりました。

なお、研究分野については、生理学に限定しませんが、教育については、生理学の講義と実習を担当していただきます。

また、生理学第一講座は、高井 章教授が担当していることを申し添えます。

記

1. 職名・人員 教授 1名
2. 任用予定年月日 平成15年7月1日
3. 提出書類
 - (1) 履歴書 (別紙様式による) 1部
 - (2) 推薦書 (別紙様式による) 1部
 - (3) 教育研究業績書 (別紙様式1.2.3.4による) 各1部
 - (4) 主要論文別刷 (10編程度) 各2部
 - (5) 教育及び研究に関する抱負について

(2,000字程度 A4判様式任意) 1部

*各書類の様式は、本学ホームページからも取得できます。

<http://www.asahikawa-med.ac.jp/bureau/shomu/offering/seiri2.htm>

4. 提出期限 平成15年4月25日(金)(必着)

5. 書類提出先 〒078-8510

旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号

旭川医科大学生理学第二講座教授候補者選考委員会宛

*問合せは、庶務課人事第二係宛に願います。

TEL 0166-68-2124

E-mail sho-jinji2@jimu.asahikawa-med.ac.jp

6. その他 選考の過程において、教育及び研究等に関するお話を伺うため、ご来学願うことがあるかもしれませんので、ご承知おき下さい。



東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻 (相関基礎科学系) 助教授の公募について

公募人員：助教授1名

専門分野・仕事の内容：先端的計測技術を用いて、学習・認知など、生体の高次機能について開拓的研究を推進する方。大学院(相関基礎科学系)・後期課程(基礎科学科の3,4年生)・前期課程(教養学部1,2年生の物理または化学)の教育を担当。

応募資格：博士号取得者

着任時期：決定後のできるだけ早い時期

提出書類：(1)履歴書、(2)業績リスト、(3)主要論文別刷6編、(4)今までの研究概要(2000字程度)と今後の研究・教育の抱負(2000字程度)(5)本人についての照会可能者2名の氏名・所属・連絡先。(1)から(4)については2部づ

つ。

応募締切：2003年4月30日（水）必着
書類送付先：〒153-8902 目黒区駒場3-8-1,
東京大学教養学部 基礎科学科主任 遠藤泰樹
封筒に「応募書類在中」と朱書し、簡易書留あ
るいは書留で送付のこと

問い合わせ先：東大大学院 広域科学専攻 相関基
礎科学系 小宮山進

e-mail : csusumu@ASone.c.u-tokyo.ac.jp

Tel : 03-5454-6738

ホームページ : <http://dbs.c.u-tokyo.ac.jp/index.en.html>



日本膜学会第25年会のお知らせ

日本膜学会は今度の年会在25回目と四半世紀を迎えることになりました。この間、「膜」は産業から民生そして医療まであらゆる分野において利用の機会が増えてきております。地球の人口増加や環境汚染といった難題に直面するこれからも、「膜」は問題解決の鍵としてその重要性がますます強く認識されていくと確信されます。

25年会は「明日の社会を支える膜学の拡がり」をメインテーマとして、二題の特別講演と全体シンポジウム、6テーマのミニシンポジウムを企画します。膜を作る、膜を使う、膜を研究するなど「膜学」に係わりある皆様と「膜学」に関心をお持ちの皆様のご参加をお待ちするとともに、積極的な発表の応募を期待いたしております。

なお、内容についてはホームページ <http://www.soc.nii.ac.jp/membrane/index.html>でも随時お知らせします。

開催日：2003年5月8日（木）、9日（金）

会場：日本科学未来館

〒135-0064 東京都江東区青梅2-41

電話03-3570-9151

メインテーマ：

「明日の社会を支える膜学の拡がり」

参加費（講演要旨集代を含む）：

(1) 会員9,000円、学生3,000円、非会員12,000円（いずれも、2003年3月末日までにお申し込みの場合は1,000円引き、年会費3,000円をお支払いになり、会員になれることをお勧め致します）。法人登録費30,000円（5名まで入場可）

(2) 懇親会参加費5,000円（5月8日（木）午後

6時より開催）

(3) 所定の郵便振替用紙をご利用ください。2003年3月末日までにお申し込みの方には、要旨集を年会的の前に送付致します。

申込・問合せ：日本膜学会第25年会係

〒113-0033 東京都文京区本郷4-14-9

Tel & Fax : 03-3815-2818

E-mail : membrane@mua.biglobe.ne.jp

日本膜学会 会長 野澤義則

日本膜学会第25年会 組織委員長 原谷賢治

プログラム

メインテーマ：

「明日の社会を支える膜学の拡がり」

1) 特別講演：5月8日（木）

「バイオ・ナノテクノロジーで分子生命情報系に迫る」 : 相澤 益男（東京工業大学）

「薬物トランスポーター研究の新しい展開～From Bench to Bedside～」

: 乾 賢一（京都大学）

2) 人工膜系ミニシンポジウム

「燃料電池最前線と膜技術」：5月8日（木）

オーガナイザー 山口 猛央

（東京大・院・工）

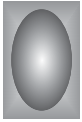
1. 携帯機器用小形燃料電池

: 五戸 康広（東芝）

2. 燃料電池自動車の開発動向と課題 —電解質膜— : 長谷川 弘（トヨタ自動車）

3. 高分子電解質形燃料電池のシステム設計と電解質膜

- ：山口 猛央 (東京大・院・工)
「センシング膜と医療」：5月8日 (木)
オーガナイザー 箕浦 憲彦 (産総研)
1. 多層有機膜構造を用いた高精度尿糖センサーの開発
：伊藤 成史 (多摩電気工業)
 2. SPRと酵素膜を使うバイオセンシング
：丹波 修, 岩崎 弦 (NTT)
 3. DNAチップー電気化学的DNAチップを中心として
：石森 義雄, 橋本 幸二 (東芝)
- 「食品産業における最近の膜利用技術」：5月9日 (金)
オーガナイザー 鍋谷 浩志 (食総研)
1. 凍結濃縮と膜濃縮
：宮脇 長人 (東京大・院・農)
 2. チキンエキス機能性成分アンセリン-カルノシンの膜技術による分離・精製
：柳内 延也 (東海物産)
 3. 疎水性膜を用いた廃棄食用油脂の再生技術の開発
：宮城 淳 (千葉県工業試験場)
- 「膜リアクタ・デバイス」：5月9日 (金)
オーガナイザー 草壁 克己 (九州大・院・工)
1. Ag固定化膜反応器によるプロピレン酸化反応の非線形性
：小林 正義 (北見工大・工)
 2. ナノ多孔性酸化チタン膜を用いた光触媒反応
：都留 稔了 (広島大・院・工)
 3. 周期構造ポーラスシリカ膜の半導体層間絶縁膜への応用
：西山 憲和 (大阪大・院・基礎工)
- 3) 生体膜系ミニシンポジウム
「DDSの最近の進歩」：5月8日 (木)
オーガナイザー 高野 幹久 (広島大・院・医歯薬)
1. 医薬品の有効性・安全性とDDS
：高野 幹久 (広島大・院・医歯薬)
 2. 化学修飾ならびに添加物を用いた難吸収性薬物の腸管粘膜透過性の改善
：山本 昌 (京都薬科大)
 3. ステルスリポソームとDDS
：丸山 一雄 (帝京大・薬)
 4. ツロブテロール経皮吸収型製剤の設計と気管支喘息の時間治療
：山崎 昌弘 (北陸製薬)
- 「膜輸送ATPaseの最近の進歩」：5月9日 (金)
オーガナイザー 上野 雅晴, 竹口 紀晃 (富山医薬大・薬)
1. 胃酸分泌とプロトンポンプ
：竹口 紀晃 (富山医薬大・薬)
 2. ペルオキシソームABCタンパク質と脂肪酸代謝
：今中 常雄 (富山医薬大・薬)
 3. 脱共役剤研究の最近の進歩
：篠原 康雄 (徳島大・ゲノムセンター)
- 4) 全体シンポジウム：5月9日 (金)
「水資源の有効利用システムと膜利用」
オーガナイザー 中尾 真一 (東京大・院・工)
1. 世界の水資源需給の現状とVirtual Water Trade
：沖 大幹 (総合地球環境学研究所)
 2. 膜技術を基盤とした水資源有効利用システムの構築
：中尾 真一 (東京大・院・工)
 3. 水資源有効利用技術としての膜の応用
：大熊 那夫紀 (日立プラント)
 4. 水資源有効利用システム用膜の現状と今後の課題
：山村 弘之 (東レ)



うま味研究会公開シンポジウム 「おいしさと健康」

主催：うま味研究会
 日時：平成15年6月13日（金）
 10：00～17：00
 場所：星陵会館 千代田区永田町2-16-2
 （都立日比谷高等学校隣）
 地下鉄永田町駅6番出口より徒歩3分，地下鉄
 国会議事堂前駅5番出口より5分
 地下鉄赤坂見附駅ベルビー口より徒歩5分
 事前参加登録：あり（下記参照）

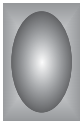
プログラム：

開会の挨拶 山本 隆（大阪大学大学院）
 「おいしさと生きること」
 山口 静子（東京農業大学）
 「おいしさを創る喜び」
 大内 秀記（キャラフィールド）
 「お茶のおいしさを極める」
 松井 陽吉（サントリー食品研究所）
 「人は口から食べられる間は，人間としての品
 位と尊厳を持って生きられる」
 金谷 節子（聖隷三方原病院）
 「おいしさを探る脳の役割—食塩嗜好性を例
 に—」

渡辺 英治（岡崎国立共同研究機構）
 「おいしさと生体反応 —脳内物質の役割—」
 山本 隆（大阪大学大学院）
 「よく噛み，健やかに生きる —エネルギー代
 謝調節におけるヒスタミン神経系の役割—」
 坂田 利家（中村学園大学大学院）
 「癌患者のケアにおける口腔感覚・摂食機能の
 意義 —食べる喜びと人生について—」
 瀧田 正亮（大阪府済生会中津病院）
 総合討論（パネルディスカッション）

参加費：1,000円，当日受付にて申し受けます。
 申し込み要領：氏名，所属，住所，電話番号，フ
 ァックス番号を明記の上，はがき，ファックスま
 たはE-mailにて下記宛にお申し込みください。
 定員（200名）になり次第締め切らせて頂きます。
 連絡先：うま味研究会事務局

〒104-8315 中央区京橋1-15-1
 TEL：03-5250-8184
 FAX：03-5250-8403
 E-mail：umami@srut.org
 URL：http://www.srut.org



サイエンス・パートナーシップ・プログラム事業に関する調査研究に係る 研究者招へい講座，教育連携講座，教員研修の募集について

文部科学省では，平成14年度より，科学技
 術・理科，数学教育を充実させるため，「科学技
 術・理科大好きプラン」を推進しています。その
 一環として，「サイエンス・パートナーシップ・
 プログラム事業」（以下，「SPP事業」という）を
 行っています。

サイエンス・パートナーシップ・プログラム事
 業（SPP事業）は，大学，研究機関等の人材，施
 設，設備等を，学校における科学技術・理科，数
 学教育に活用するためのものであり，

1. 学校が大学，研究機関等の研究者，技術者を
 招へいして，科学技術・理科，数学に関する
 観察，実験，実習等の学習を行う「研究者招
 へい講座」に対する支援
2. 大学，研究機関等が学校と連携して，当該大
 学，研究機関等において，科学技術・理科，
 数学に関する観察，実験，実習等の学習を行
 う教育連携講座に対する支援
3. 各都道府県教育委員会，指定都市教育委員
 会及び中核市教育委員会や大学，研究機関等に

において、教員を対象とした科学技術・理科、数学に関する研修を行うことに対する支援等を実施することにより、大学、研究機関等と学校の連携のあり方についての調査研究を行うこととしています。

については、実施を希望される場合は関係部署に周知の上、実施申請書等を提出願います。

<募集期間>

一次募集：平成15年1月15日（水）～平成15年2月28日（金）（必着）

平成15年5月10日から平成16年3月31日まで
に実施されるもの

二次募集（予定）：平成15年5月12日（月）～平成15年6月10日（火）（必着）

平成15年8月1日から平成16年3月31日まで
に実施されるもの

詳細は日本生理学会ホームページ（<http://www.soc.nii.ac.jp/psj/>）または文部科学省のホームページ（http://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/daisuki/index.htm）をご覧ください。



生理学研究所 生理科学実験技術トレーニングコースのお知らせ

生理学研究所では、「分子・細胞レベルから脳の働きに至るまで人体の機能を総合的に解明する」ことを目標に研究を進めています。例年、夏期に生理学分野に関心を持つ大学・大学院生、若手研究者を対象とした実習形式のトレーニングコースを開催しています。実習では最新の生理科学の技術を学んで頂けます。詳細、参加申込方法は下記のホームページをご覧ください。熱意、意欲のある方のご応募をお待ちしております。

日 時：2003年7月28日（月）～8月1日（金）
場 所：岡崎国立共同研究機構 生理学研究所
（愛知県岡崎市）

講演

『イオンチャネル・神経回路から個体に向かって』 井本 敬二（生理学研究所）

実習テーマ

電子位相顕微鏡の原理と実践
超高压電子顕微鏡による生物試料の立体観察
免疫電子顕微鏡法
生体標本の蛍光観察と細胞内カルシウム濃度測定
ジーンターゲットニング

胎仔脳内への遺伝子導入—レトロウイルスとエレクトロポレーション—

遺伝子導入・欠損を用いた細胞応答解析
パッチクランプと電気生理学実験解析法
スライスパッチクランプ（1. 基礎コース 2. 応用コース）

慢性動物実験法入門

電気生理学及び心理物理学的手法による視覚メカニズムの解析

脳機能画像解析入門

脳磁図計測・解析の基礎

OPアンプによる増幅器とバスチェンバーの作製

簡易型電気泳動装置の作製

受講料：9,800円（予定）

申込方法：ホームページ上にてオンライン受付
（<http://www.nips.ac.jp/training/>）

申込期日：2003年4月23日（水）～6月4日（水）

共 催：日本生理学会、日本神経科学学会

連絡先：e-mail: training@nips.ac.jp

募集人員：約150名



日本福祉大学専任教員募集要項

1. 担当科目
「生理学」または「リハビリテーション論」及び関連科目
大学院の授業も担当する
 2. 採用人数
1名
 3. 任用資格
教授
 4. 所属
情報社会科学部人間福祉情報学科（2004年度開設予定）
 5. 採用予定時期
2004年4月1日
 6. 応募資格
教授にふさわしい研究業績を有し、教育に熱意のある者
 7. 必要書類
 - 1) 履歴書（所定様式1）
 - 2) 教育研究業績書（所定様式2～5）
 - 3) 著書・論文等の研究業績またはそのコピー各1部
（主要な業績3点以内について各1,000字程度の要旨を添付すること）
 - 4) 健康診断書
 8. 書類の提出締切日および提出先
 - 1) 締切日 2003年4月30日（水）必着
 - 2) 提出先
〒475-0012 愛知県半田市東生見町26-2
日本福祉大学情報社会科学部事務室
（電話：0569-20-0111）
※郵送の場合、封筒に「生理学・リハビリテーション論教員応募書類在中」と朱書きし、書留便で送付すること。
 9. その他
 - 1) 給与およびその他の諸条件については、本学の規定により処遇する
 - 2) 選考過程において面接が必要な場合には、おって面接日を通知する
 - 3) 選考結果は、選考が終了次第本人に通知する
 - 4) 著書・論文等の研究業績については、選考終了後次第返却する
- 以上
- ※所定様式1～5が必要な方は生理学会にお申し出下さい。